

SAGOJO PRESENTS.

天から

アリデ!

- 総集編 -



Caution! For Adult Only.

天から

7th!

～総集編～

CAUTION! FOR ADULT ONLY!!

天から
7オケ!

-CONTENTS-

06-17	黎明編
18-23	未来編
25-29	復活編
30-39	乱世編
41-51	乱世・夢見月編
53-67	望郷編 (描き下ろし)

天から 7オケ!

前書

お手に取って頂きどうも有り難う御座います。
どうも、瀬浦沙悟です。

今回は今まで5回にわたって発行してきました、
GA蘭花×フォルテコピー本シリーズの
再録本となっております。

+今回は描き下ろしとして望郷編を15頁程収録いたしました。

一応「天からフォルテ」としては完結です。

その時々蘭×フォルの妄想を描きなくってきただけなので、
ストーリーなんて無いようなもんですが…orz

一応時系列的には全て以前出した『Attention Please!』(未完結…)の
後と言う形となっております。

本編のエロ部分の連続性を重視した編集にしておりますので、
表紙や一部のイラストの位置がそれぞれの発行時とは前後しておりますが、ご容赦下さい。

それでも偶数奇数頁の都合で幕間の頁ができてしまいましたが…(´・ω・`)

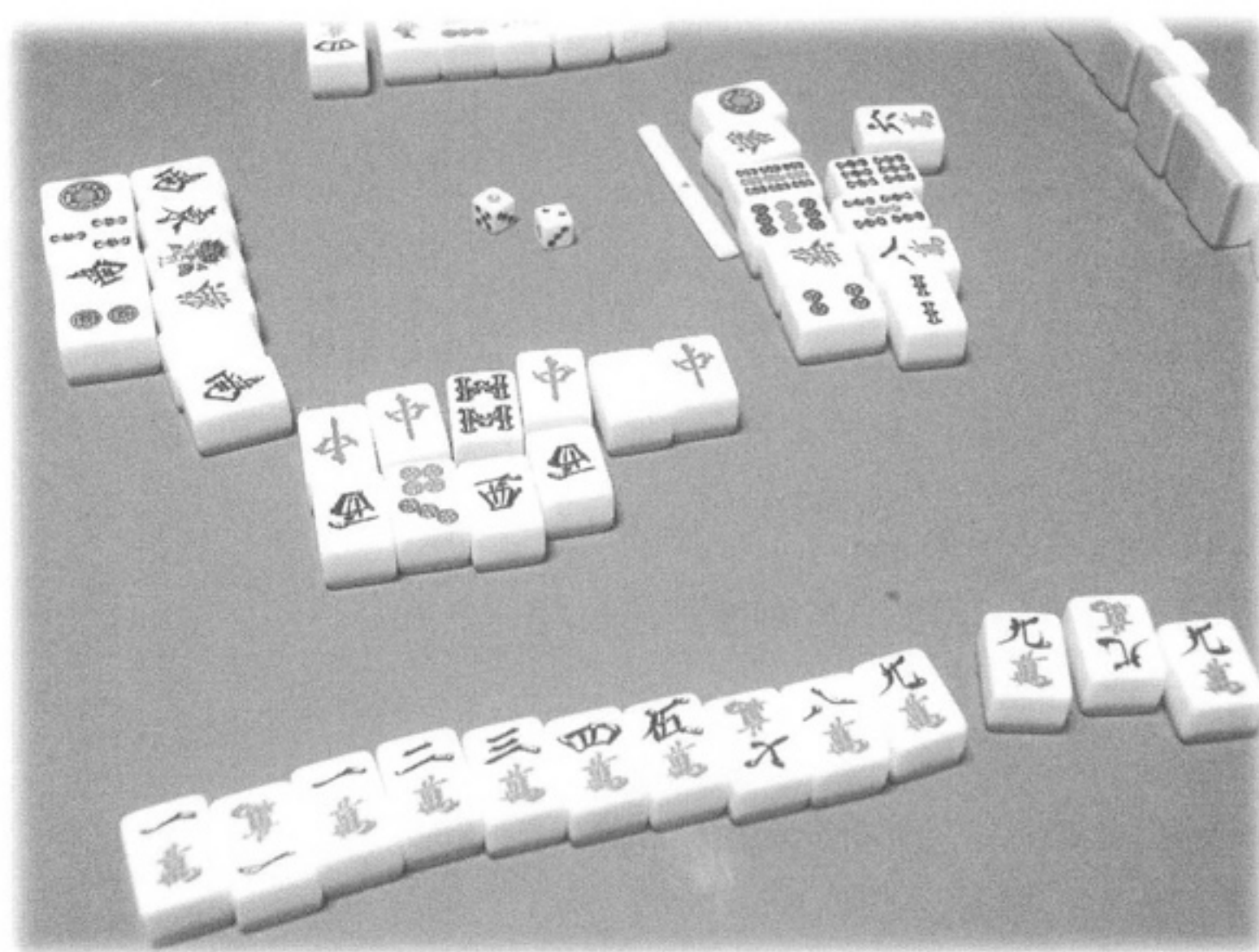
ではでは、楽しんで頂ければ幸いです。

あらすじ

調査任務中に謎のロストテクノロジーで
作られたらしき部屋に閉じ込められたフォルテさん&蘭花さん。
気が付いた時には蘭花さんはふたなりに、
フォルテさんはその爆乳が更に肥大、母乳を出してしまう体になっていたのです。
慣れぬ男性器の劣情に駆られフォルテさんを襲う蘭花さん。
しかしそんな蘭花さんをフォルテさんは結果として優しく迎えることとなり…

…数日の後何とか帰還を果たした二人だったのですが、
その体は未だそのままだったのです。
そしてエンジェル基地を舞台に爛れた蜜月の時間が始まります…。

これは一つの
ロストテクノロジーが
引き起こした
ある騒動の記録である





ミゃっおいっころす
ちまっ 待てよおいっしー

「待てといわれてもこれは、
罰ゲームなんですから仕方ありませんわ」
「つつつてもあんな無茶苦茶な九連！
食らって納得できるかつ！！！！」
「無茶苦茶だなんてひどいです、フォルテさん
…それにちゃんと脱がなきゃ駄目ですよー」
「ってなんで腕縛ってるんだミルフィーユっ！」
「だってフォルテさんいきなり銃取り出したり
しそうなんですもん」
「どうせロストテクノロジーの所為で
服を脱ぐ事には抵抗できない訳なんですけどね」
「……ハコテンは一気に全脱ぎが世の習い…」
「まあいきなり全脱ぎは可哀想ですので…
マントと帽子だけは勘弁して差し上げますわ♪」
「ちっ血も涙もねえなお前ら—————！！！」



「あら…まあ…」
「わーフォルテさんすごーいっ！」
「…本当にもの凄いサイズですわ」
「……たぶたぶずっしり……」
「サイズももの凄いですけど、
/この垂れッぷりも凄いですわね…w」
「おへその辺りまで垂れちゃってるー
でもその分すっごく柔らかそう…♪」
「(…く…くそ…言いたい放題言いやがって…ツ)」



「ホント酷いサイズ...
私では乳輪掴むので精一杯ですわ...」
「そっそれはミンドお前の手が小さいだけっ」
「でもでも私でもぜーんぜん
揉みきれてないですよフォルテさん♪」
「.....っ」



「おっきくて
ピンク色で
とっても
いやらしい...♪
.....あら...？」



「...どんなに
いやらしい勃起具合
見せてくださるの
かしら...♪」



「それに乳首だって
まだ勃起していないのに
私の人差し指じゃ
全然余って
しまいますわよ？」



「水臭いですわフォルテさん
こんな素敵な体じていらしたのに
黙ってるなんて…♪」



「…あは…っ♪
すごい勢いで射乳してますわ♪」
「こ、こんなにいっぱいじゃうんですね～」
「…くッ…や…あッそんなッ
搾るんじゃ…くあああッ」



「フォルテさんのおちち搾っていると
本当に雌牛みたい〜♪」
「…じっかしそんな必死に
歯を食いしばって…
そんなに甘い声上げるの
嫌なんですの？」
「…ぐ…ふ…ううーっ」
「そういう態度取られると
ますますだらしないアへ声
聞いてみたくになりますわ♪」

「ヴァニラさんも
手伝ってくださいませんか？」
「……:脱衣時々搾乳体験……」
「ただ搾るよりも…
さっきみたいに直接
乳首責めた方が良い顔するのでは…」



「…GAのうわさ…」
「フォルテさんは乳首の根本を
優しくぐにぐにされるのに
すっくごく弱みたいですね♪」
「うわ…フォルテさんの顔
真っ赤っか〜♪」



「あららもう
限界みたいですね…♪」
「こんな表情のフォルテさん
初めて見ます〜」
「…ほらほらもう直ぐイって
しまいますわ♪」





「あ……フォルテさん……
痛い……イってるんですね……」
「……痙攣に合わせて
おっぱい触っても無いのに
母乳が吹き出して……
すっごくいやらしいですわ……♪」



「…胸だけなのに
めろめろですわね
フォルテさん…」
「まだひくひくって…
気持ち良さそう…」
「……フォルテさんは…
神の国に旅立ちました……」

「…………それは何か
違うんじゃないですか
ヴァニラさん…?」

← to be continued... ????

～前回のあらすじ～

脱衣麻雀でミルフィーユに嘘真いまでに見事な九連宝灯振り込んだフォルテさん、脱衣の勢いでついでにミント＆ヴァニラ＆ミルフィーユの三人におっぱいレイプされちゃったのでした。

今回はそれに嫉妬したランファがフォルテさんを襲っちゃうお話。

「っ止め…ランファ…っ！」

「フォルテさん…イっちゃったんですね？ミルフィーユ達におっぱい搾られて…っ」

「…や…っても…」

「アタシじゃない娘達にイかされまくったんですねフォルテさんっ!？」

「うあっあ…っ」

「アイツらも許せないけどフォルテさんもフォルテさんですよ…っ!？」

「そんな…アタシは無理矢理…っ」

「この淫乱おっぱいからミルクびゅーびゅー垂れ流してイってたのが目に浮かびますっ」

「…………っ」

「ミルク搾られたら誰にでもエッチな姿見せちゃう変態なんですねフォルテさんは…っ!？」

「…そ、そんな事…っ」

「フォルテさんの事…
一番気持ち良くさせて
あげられるのが誰かって事
じっくり思い出させてあげます…っ」
「…あ…」





「…ほら…フォルテさん…
コレは…アタシだけしか無いでしょ…?」
「あ…う…」
「フォルテさんのおまんこは、
アタシのちんぽ大好きですもんね♡」
「(何度見ても…でかいよ…
ランファの…ペニス…♡)」



「…フォルテさんを…
たっぷり苛めたくて…」
「(うあ…っ熱い…っ)」



「フォルテさん…
欲しい…でしょ？」



「アタシのちんぽ
—ときどきしてるの
わかるでしょ…っ♡」
「(びくびく脈打って…
アタシを…
欲しがってた…)」



「ん…んふ…っ」
「うふあ…っ♡あ…
や…ん…っ♡先っぽ…
ぱっくり啜えちゃうの…
唐く良いですう…っ♡」



「ん……ちゅっ」
「あ…っ♡そ…そう…♡
素直なフォルテさんは…
すっごく素敵…っ♡」



「あん…っフォルテさん…っ
フォルテさんのいやらしい
おっぱいもっ使わせてえ…っ」
「ん…むっ♡」
「あう…あ…あん…っ♡
フォルテ…さんのっおっぱい…っ
あったかくて…柔らかい…っ」
「あむう…ひもひ…ひいは？」
「うん…っ♡すっごく
きもちいい…
それに…フォルテさんの
いやらしい顔…最高です…よ♡」
「んっんー！」

「うんっ…!?ん——ッ!!!」
「…こんな風につん…♡乳首強く捻られて
感じるんでしょ…フォルテさん…♡」
「ん…れる…ら…らめ…っ」
「強いのは…変に…っ…れる…うん—っ♡」
「ああ…っ♡アダシも…良いですう…
フォルテさんの柔らかいおっぱいで
ちんぽふにゅふにゅしごかれながら
先っぽれるれるされるの…っ
たまんないい…♡」



「ん…ふふ…っ♡
れる…ちゅ…ぴちゃ…っ♡」
「うあ…っ!?あ…っ♡
尿道…っ駄目え…っ!?」
「…ぴちゅ…ちゅう…♡」
「あ…く…くうっ!?」



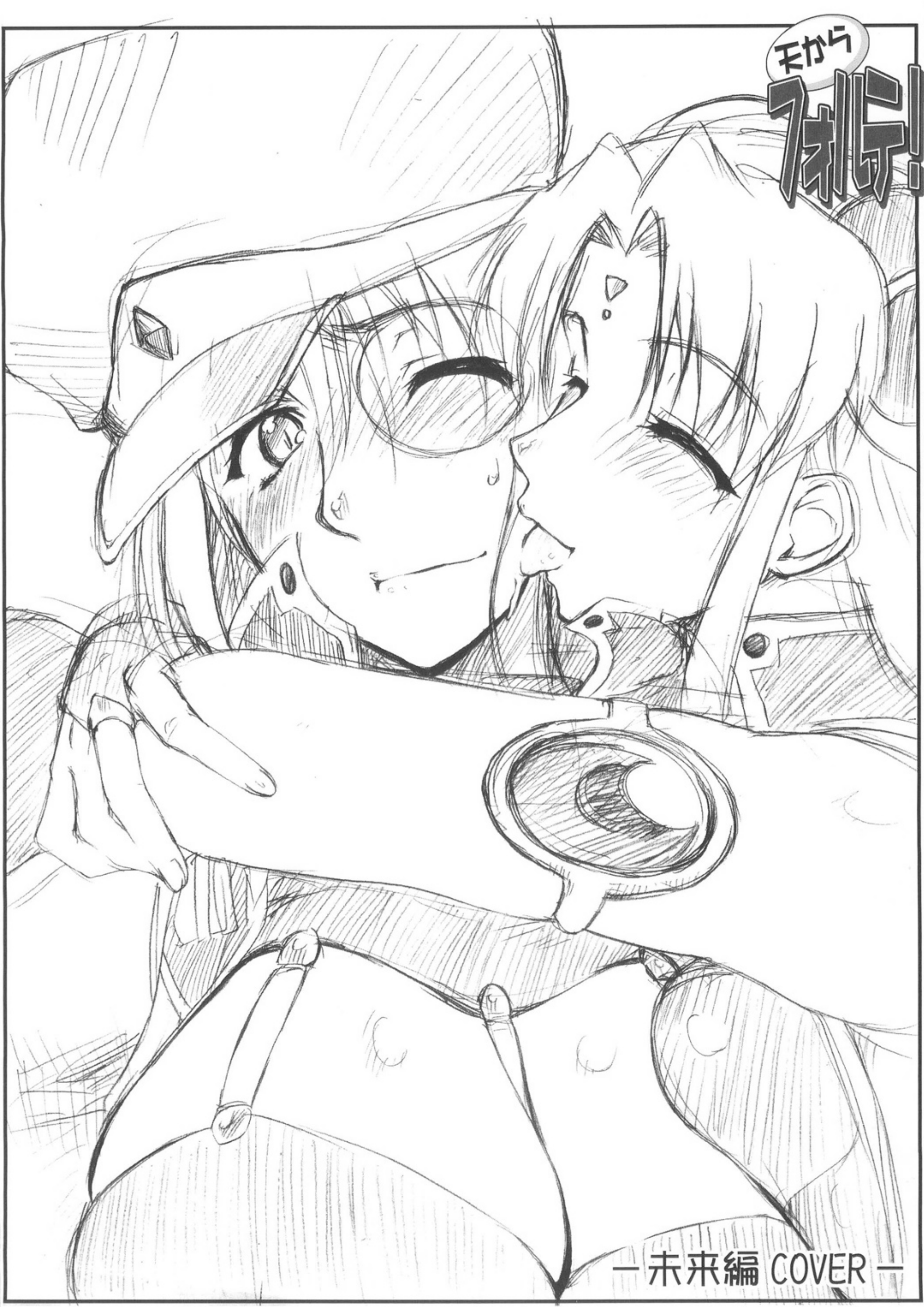
「…ア…ひあ…あ…っ!!!!」
「うあ…せーえき…ランファの…」
「あーっ♡あーっ♡」
「…あつい…せーえき…
こんな…いっぱい…っ♡」



「…フォルテさん…今度は…
瞳内に…射精したいですう…っ♡」
「…あ…いい…よ…
来なよ…ランファ…♡」

← to be continued... ??

天から
7割は!



前回までのあらすじ

えーと色々有りましたが
蘭花さんはふたなりで
フォルテさんは母乳出て
ふたりはらぶらぶです。

あ……

あ……

ティンパン

あ……

ティンパン

ティンパン

あ……

は……

ずん

ずん

ずん

ずん

ずん

「うあ……っそ、そんな
いきなりっはげしくううっ
だ、だって……ッ♡
フォルテさんの膣内あああ
「ば……かあ……っ
ケタモノみたいにそんな……
「仕方……っしかたないの……っ
ちんぽっ♡ちんぽ気持ち
良すぎちゃうのおおっ♡

あーっ

は...は...は

パチパチパチ

「うふふ...っ♡
一度してみたかったのよね
フォルテさんのおっぱいガラスに
押し付けてHするの...っ
「や...胸...っ♡
つぶれ...っ
「ああ...向こうから見れたら
最高ののにい...♡

あ、あ、あ...あ、あ、あ

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

[illegible]

「フォルテさん…ッ
アタシ…もう…ッ
膣内で…射精ますぅっ♡
「やっただめ…ッ
膣内…っだめ…ッ
「なに言ってるんですかっ？
さんさん膣内射精してきたのに…っ♡

「で…でも…っそろそろ
本当に危ないんだあ…っ
「いや…嫌ですっ♡
膣内射精しちゃうのぉっ
あ…も…射精る…っ
射精ちゃう…っ♡
フォルテさんに種付けしちゃうぅっ♡
「駄目…え…っ♡許…してえ…っ
ゆるし…て…ひあああああっ♡

「あ…
また…膣内で…
♡

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

「ば…ばか…やろお…
また…膣内でえ…っ
「…ごめんなさい…
でも…アタシ…
いっせフォルテさんに…♡
「な…何言っただよ…
そんなの…ふっ…じゃ…
「もうアタシ達十分ふっ…じゃ
ないと思うの…♡
この気持ちは…ふっ…じゃないけど…
嘘じゃ…ないもん…♡
「う…ランファ…♡



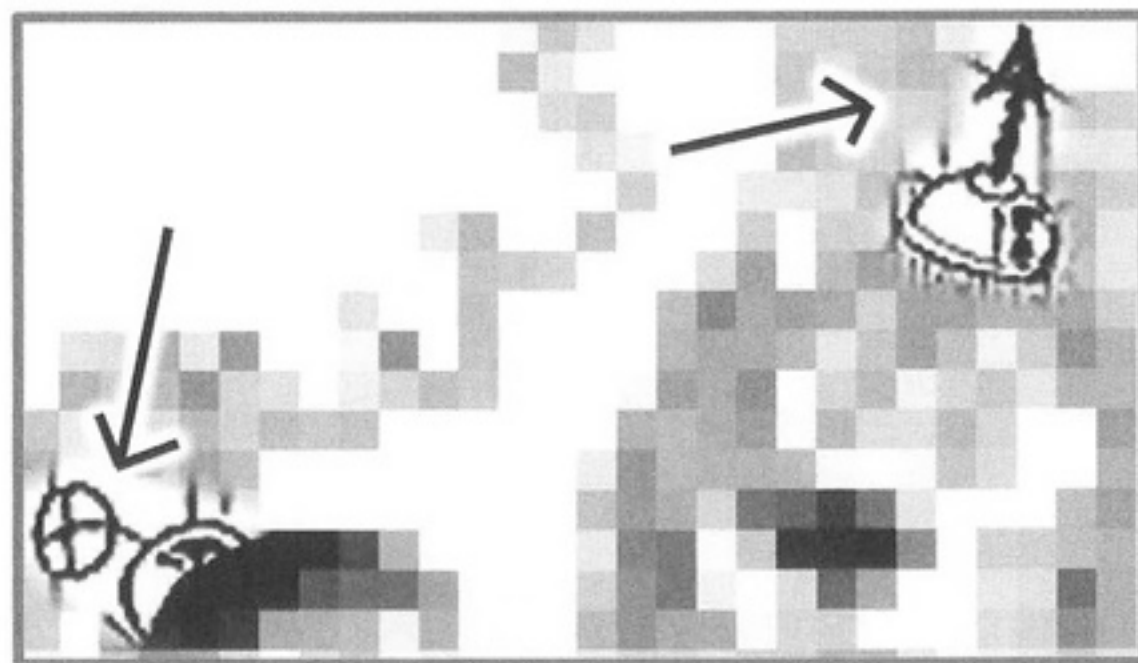
《ああ…アタシ…
嬉しいって…思っちゃってる…♡
悔しいくらい…
もうランファのこと…♡
……
最初にランファとシてから
もう三週間くらいかな…
何回も…もう散え切れないくらい
膣内射精されて…
絶対孕んじゃってるよ…♡
どう…しよう…

あ…

あ…

あ…♡

これはと、或る一つの一つの
ロストテクノロジーが
引き起こした
ある騒動の記録（前編）である…



それは某隊の某さんが
相手を言いなりに出来ちゃう
素晴らしいロストテクノロジーを
発見した所から始まります。

フォルテさんに使ってみるしか！
とか早速考え
まず前のままの制服を
（注とあるロストテクノロジーのお陰で
《『AttentionPlease!』参照》
フォルテさんのおっぱいはふた回り程
大きくなっちゃっているのです…）
無理矢理着せちゃいました。

「こ、これで…いいんだろっ」

「…こんなふた回りくらい
おっきくなっちゃった
やらしいおっぱい…
前のままの服じゃ
全然収まってませんね…
これじゃ痴女そのものですよねっ♪」

「…この格好しろって言ったのはお前だろ…っ？」



ブラ外すだけでたぶんって
溢れ出て…
…ホント…いやらしい
おっぱい最高です…

「い…いやらしくなんか…っ

お臍まで垂れた規格外の
おっぱいはふらふら下げてて
いやらしいくない訳
ないじゃないですか
全くもう…恥ずかしく
ないんですか…？
「…………っ



…腕を後ろに組んで…
そう、腰の後ろで…

「……………こう…か？」

じゃ今度は横を向いて…

…こうして横から見ると
ホント酷いシルエット…
本気で頭サイズの
おっぱいなんて…ありえないです…♡
「あ、ありえなくて悪かったな…
アタシだって好きでこんな体にな
ったわけじゃねーっての…」



今度は頭の上で腕を組んで…
後ろ向いて…?

「……………」

うわ…この角度から
見ても酷いなあ…
背中両側から完全に
おっぱい見えちゃってますよ♪

「…そ、そうなの…か…
そ、それはそうとして
あんまり酷い酷いって言うなよ…っ

「…な、なあ…もうそんな
じろじろ見ないでくれよう…

だ、めです♡
しっかし正面から見た時
ウエストが完全におっぱいで
隠れちゃってるんですね…

これじゃスリーサイズ測る時も
バスト測ってるのか
ウエスト測ってるのか
わかんないですよね…w

ゆっ…

ゆっ…

じゃあ今度は…腕そのまま
上半身を左右に思いっきり
振ってください♡

「え……？」

フォルテさんのうしちちが
ゆさゆさ左右に揺れまくってるのが
見たいって言うてるんです♡

ズンッ

ズンッ

「そ…そんな恥ずかしい事
でき…あ…っ！」

出来なくてもやらなきゃだめ
…今のフォルテさんはなんでも
言いなりなんですからw

「く…そう…
や、やりやあいーんだろ
やりやあああっ！」

ズンッ

ズンッ

「く…そ…っ
ん…っ…く…っ！」

う…わあ…っ！
コレ…なんか言葉出ない…っ
ゆさゆさなんかじゃ足りない…
ぶるんぶるん…って感じ…かな…？
お長くて量感たっぷりって唐い…っ♡

「はあ…はあ……はあ……あ…

フォルテさん…
ちよつと涙目になってる…
そんなに恥ずかし
かったんですか…っ？

「ん、んな訳…ねえよ…っ
ちよ…ちよつと
胸が痛いだけだよ…っ！

へえ…そんなに痛いんですか…？

「…結構…根元が
ピリピリくる感じで…

やっぱり重いですか？
フォルテさんの
ばかでつかいおっぱい…

「ばかで……っ？
………そりゃ…重いよ…

腕にだらしなくたぶたぶ乗っかって…
重たいのにすっごく柔らかいから
いやらしい形に変形してますよ…

たぶ…

たぶ…



じゃあ今度は…
「まだやんのかよ……
まだまだですよ、
そうだ、脚を抱えて
座ってみて下さい♡
「……………くそお……



：やっぱり…♪
思ったとおり脚と腕の間で
おっぱいが潰れてますよ…
唐い格好になっちゃって
乳首が脚の脇から覗いて
すっごくいやらしい…
「も、もういいだろ…っ
駄目…もっともっと
フオルテさんの
いやらしい格好見たいです…

じゃあ…仰向けに
なりましょうか？

く……

仰向けのフオルテさんの
おっぱい…左に胸板の上で
だらしない…右に広がって
もうちよとで仰向けなのに
おっぱいが下のソファに
くっついて…？



「…はあ…はあ…
くふ…う…う…」

？
あ、…もしかして…
半勃ちのままの乳首
弄りたいんですか…？

「…あ…う…そ、その…
…じんじんして…切ないんだよ…
もう…アタシ…っ」

駄目ですよまだ触っちゃ…

「そ…そんな…っアタシ…
乳首が…や…アタシ…いい…」

フオルテさんのおっぱい
外見だけじゃなくて
中身まで本当に
いやらしいんですね…

「そんなの…
分かってる癖に…っ！

乳首弄れなくて切ないなら…
テーブルに擦りつけて
気持ち良くなったらどうです？

「…そ、そんなあ…」

嫌ならずっとそのままですけど…
中身までいやらしいおっぱいの
フォルテさんは
我慢できるんですか…？

「あ…ううう…」



「あ…冷た…っ
は…ん…う…ふうん…っ」

気持ちよさそうですねw
くりくり乳首擦りつけて…
そうやってばかづかい
おっぱいテーブルに
乗っかっているとまるでお餅か
何かみたいで…
やっぱりいやらしいです…

「は…うう…
あう…あ…ん…」

もっと…いやらしい格好…
見せてくださいね…
フォルテさん…

← to be continued...



今日のあらすじ
← 相手を言いなりに
出来ちゃっロストテクノロジー発見！
早速フォルテさんに使ってみるわ！
と意気込んでバクハツしきくった蘭花さん。
でもつづからそのロストテクノロジーを
奪われちゃって大変な事に…

「…ふふふふふふ…
形勢逆転だなあランファ…
「あ…フォ…フォルテさん…
ゆ…許してえっ
「誰が許すかこのクソアマ…
アタシが恥ずかしい思いした分
た…つぶり恥辱味わって貰うからなあ…
「やっやだああああっ

がぁぁ

ああ…

「何だお前でかいちんちん勃起させて…
チャイナの裾はだけかかってんじやないの…
女の癖にそんな格好して恥ずかしく無いのか？
「だ…だって…フォルテさんの
あんなHな姿みてたら…仕方ないですよ…♡

んんん

もい

んんん

もい

「お前やっぱ良い乳してるよなあ……」
「……フォルテさんに言われても嬉しくないですよ……」
「アタシのはただでっかいだけ……」
「お前のツンって張った形の良い乳の方がゼツタイ良いって……」
「ふふ……♪でもアタシはフォルテさんのだらしなくてやらしいおっぱい大っ好きですよー♡」
「言っとけこのやろ……」

「……しかし見られてるだけで勃起ビクンビクンさせてやらしいなランファは……」
「……仕方ないですよッ 直接刺激無いとあんまり勃起しない乳首なんかとは違ってチンポは興奮したらすぐ勃起しちゃうんだもん……」
「え……そうなんだ……？」
「さっきみたいに触っても無いのに見られてるだけで乳首半勃ちにさせてるフォルテさんの方がよ……っばどいやらしいわよー♡」
「……」
「く……くそ……立場わかってんのかおまえ……ッ！半勃ちの乳首触りたくてうずうずしてたフォルテさんのあの顔……ッ！もーサイコーでしたよあ？」
「……そのへらず□マジで後悔させてやっかな……ッ」

ビクンッ
ビクンッ

「お前のチンポホントでかいよな…
ヘソまで反りあがってるなんて
生優しいモンじゃないし…
…もしかして胸にまで当たっちゃったりとか…？」
「あ…
「うわあ…さきっぱ胸に埋まるなごりゃ…
「ア…こんな…嘘お…
「どーだあ？
自分のチンポの先で感じる胸は…？
「…柔らかい…です…っ
フォルテさんのおっぱいの方がもっと柔らかくて…っ
ふわふわで…っアタシは好きだけど…っ♡
自分の張りの強いおっぱいも…
結構良いかもお…っ♡



「よしじゃあ腰落としてみな…」
「は…はい…」
「で…そのままじっとしてろ」
「あ…え…」
「手使うのも駄目」
「チンポ胸に当てるのも駄目だからな」
「や…やあ…」
「へらさ口後悔させてやるって言ったろ？」
「そんなあフォルテさん」
「こんな生殺しみたいな状態…っ！」
「おーすげチンポビクビク」
「思いつき震えてる…ッ」
「駄目え…っこれじゃ何処にも…っ」
「お願いフォルテさんもうアタシい…っ！」
「うっわ…先っぽから」
「我慢汁ぴちぴち飛んでやがるッ♡」

「ああ…じらさないで下さいよう…」
「これじゃ…アタシ変になっちゃううう」
「…なら…具体的にどうしたいのか」
「ちゃんと言明してみな？」
「あ…あああ…」
「恥ずかしくて言えないってか？」
「じゃあこのままお預けだねえ…♡」
「ああ…っお願いですフォルテさんっ」
「アタシのチンポシゴかせてくださいっ」
「それじゃ分かんないよランファッ？」
「何でチンポシゴきたいんだい？」

「むっ胸…っおっぱい…っ」
「おっぱい…っ！」
「アタシのこのおっぱいで」
「自分のデカちゃんぽ」
「パイプリーしてびゆるびゆる」
「せ…えき射精したいんですうッ♡」
「…良く言えたね」
「ランファ…♡」
「良く出来たご褒美だ…」
「思いつき自分でシゴいて」
「イっちまいなッ！」

ぶんぶん

ぶんぶん

「あっああっ♡はああっ♡」

「臍よりも上まで反りかえったチンポ
体折り曲げて自分で必死にパイズリして……
みっともない格好だなランファ……」

「なっ♪なんでも言っつて♡」

チンポツチンポ気持ち良いのお…っ♡
自分でパイズリするのってこんな…っ♡

「全く：サルみたいになんか」

「はあ…っ♡あっあっああ…♡」

⋮

「ああ……ああ……あああ……っ♡

「ら…ランファ…アタシがする」

パイズリとだつたら…どつちが…良い？

「あ……どっち……どっち……」

「あ、い……いや……聞こえなかつたならいーよ……」

「あ、あ……っ♡」

ふお…フォルテさんの方が…♡
気持ち良いですよお…♡

「あ……」

「だって……フオルテさんのおっぱいはいい方が……」

柔らかいし…おつきいし…♡

「アタシのチンポ全部包まれるのっ

すっごく気持ち良いんだから♡

アタシの胸じゃそんなの無理だし

大体この体勢じゃ……っ

「だから……フォルテさんの」

おっぱい…大好きい…♡

「そ……そか……♡」

「ん……ふふふ……」
♡

ふあ♡
ああ…♡

「ああ…も…もう射精ちゃうっ…っ♡
「亀頭膨れ上がって…
「竿の尿道もパンパンになってるな…っ♡
「ああっ♡ねっ根元までっ♡
「せーえき駆け上がって来てるのぉっ

「チンポ細かく痙攣して…っ
「もうイクんだなランファッ！
「は…っはいいいッ♡
「もっもっもっあと数回擦ったらっ！
「アッアタシッああああっ♡
「そのまま顔射しなっ♡
「思いつきり舌出して自分のザーメン
「たっぷり味わうんだっ♡
「あっあっあああああっ
「…っ うわ………！



「あっあっあああっ♡
「すげ…っ何度も何度も
「どろっどろの濃いザーメンが…ッ♡
「あ…ああ…
「じ…自分で顔に射精すのって…
「どんな…気分なんだ…っ？
「あ…う…♡
「変な…気持ちですっ…
「せーえきって…こんな味だったんですね…
「う…うん…しょっぱいみたいなの
「甘いみたいな苦いみたいなの…
「変な味だろ…
「ん…でも…なんかこの味
「喉に絡みつく感じ…
「ちよっと…癖になっちゃいそ…♡
「…それじゃマジ変態だぞ…
「でも…癖になるっのでは…
「間違いねーけどさ…
「は…はい…

「…それじゃ今度は…
「手〆キいてみるか♡
「ああん…イ…
「いったばっかりなの…
「…っ

「びっ
「びっ

「手止めたら
駄目だぞランファ
……っあ……また……
またイっちゃいます
フォルテさああんっ♡
「もうかよこの早漏っ！
「だってイったばっかりで
すぐなんて敏感すぎて
も……もうッ♡
「……っ良いぞイっちゃえランファっ♡
アタシの膣内に射精してること
想像しながらイってみなっ♡
「あ……ひ……♡ ひあああッッッ♡

「アタシの膣内で思いつきり
根元搾られてる感覚思いだせッ！
「あああッフォルテさんの……っ
フォルテさんの膣内ああッ♡
「膣内でお前のチンポ
ぎゅんぎゅん締め付けられて
ザーメン枯れるまで子宮に
注ぎこんでるって思っ……っ
「あああ……っ♡
フォルテさんの膣内で……射精……っ♡

《うわ……ランファのザーメン……ッ
すげー勢い……ッ……こんな風……っ♡
太くて長いチンポが
アタシの膣内奥まで犯して
子宮口にびっちり亀頭押しつけて
膣内射精してるんだ……っ♡
「は……あああ……♡



「や…っふお…フォルテさん…っ
手…っ♡手止めさせてええっ♡
「駄目だ…ッ
そのままいき続けなっ！
「そっそんっ
ひ…やっ まっまたっ♡
「イけっ♡イけっ♡
「ザーメン思いつきり吐き出せっ♡
「ああああああッ♡
「うあ…っすごっ♡
「ザーメンが噴水みたいに…っ♡
「ひ…せーえきびゆるびゆる…っ
まだ…射精ちゃうっ♡
「ザーメンまみれで…
「やらしい格好だぞランファ…♡





「ひあ…っ
もっもっ…らめえ…っ♡
「…まだまだ射精しろよ…っ！
「ゆっゆるっゆるしてえっ♡
「せーえきっ！せーえき止まんらひのおっ♡
「ははっチンポびくびく♡
「痙攣しっぱなしだなッ♡
「あひっ！ああっああッ♡



《ああ…ランファの…ザーメンの匂い凄い…っ
直接嗅いでも無いのに
鼻孔にこびり付くみたいな濃い
栗の花の匂い…
アレを…思いつきり…顔に…
射精されたりなんかしたら…もっと…♡
「…わかった…もう良いよランファ…
「ア… ふお…フォルテさん…っ♡
「だけでもう一回だけ射精して貰うからな…
「え…？
「あ…アタシの…アタシに…顔射しろ…
「え…ええっ？
「…っ最後に前のお前の臭いちゃんぽミルクを
アタシの顔に思いつきりぶちまけてみな
って言うてんだよッ！

フォルテさんの凛々しい顔全部ッ

射精しちゃい
ます♡



天から
7割デ!



「フォルテさん…おまたせ…」
「遅いよランファシャワー」
「浴びるだけって言うってたのになにやって…」



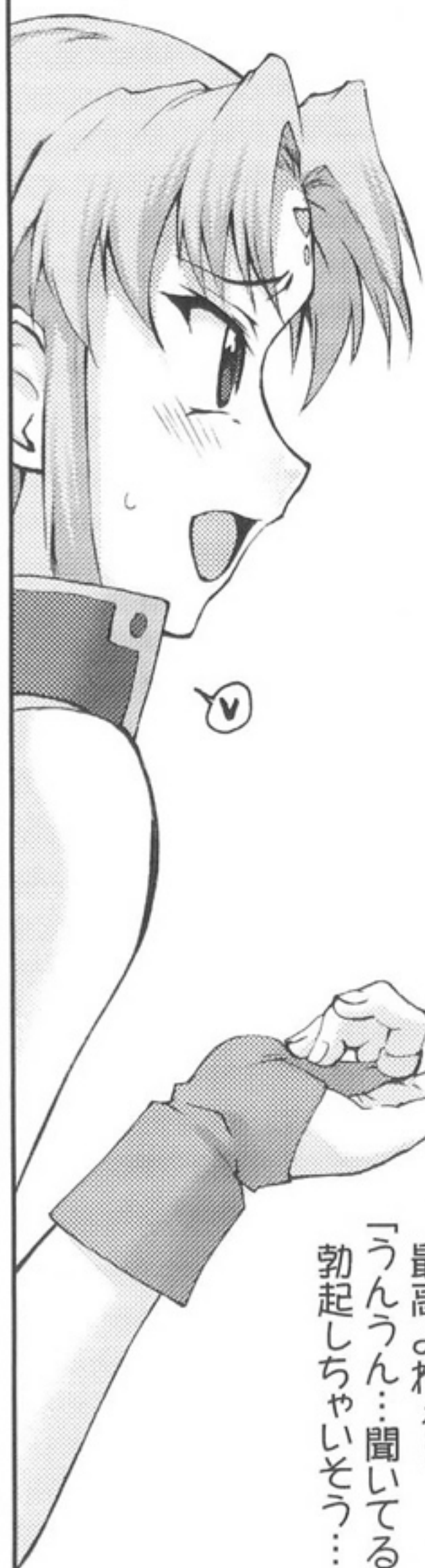
「うてなんだそりゃあつ!?」
「見たまんまですよ見たまんま」
「ちよつと良いロストテクノロジーがあるな」
「って前から目を付けてたんです」
「う…」

「あ…いま」
「『これからアタシどう犯されて」
「イキまくるんだろう!』」
「って期待した顔になってましたよ?」
「そっそんなことねえよ…」



「うーん…これだけ触りまくってきたのに
慣れて感じなくなっちゃわないで
逆に感度良くなる一方なんて不思議よね
「そ…♡それは…
「元から敏感すぎて擦れると痛いくらい
って言うてたし敏感なのは
前と変わんないのよねフォルテさん？
「う…うう
「ふーん…それで、その痛いくらいのを
気持ち良いって思えるように
なっちゃったって事なのね…♡
「そっそれはおま…お前のせいだろうお

「ふふ…フォルテさんの
開発しきつちゃったおっぱい…
「かつ開発だなんてっ
「違わないでしょ？
「ひ…うう…優しく
撫でられるの…や…やあん…♡
「フォルテさんのあまーい声…
最高よねえ…
「うんうん…聞いているだけで
勃起しちやいそう…





「ど、どんな気持ちって言われても…
なんか…柔らかくて重たいのを
無茶苦茶に揉まれると
アタシの体じゃないみたいで…
でも奥の方から切ないみたいな
熱いみたいな感じが…ああ♡

「このたっぷりの量感はおルテさん
だけしか味わえないよね…
うらやましい…♡
「お…お前だつて結構大きいだろ…
でもこんな片手じゃとても
揉みきれない酷いサイズじゃないもん…
それに中にミルクたっぷり
詰まってるふたふ重たくて…
こんなの揉まれるのって
どんな気持ちなのかなあ？

むにゅ

むにゅ



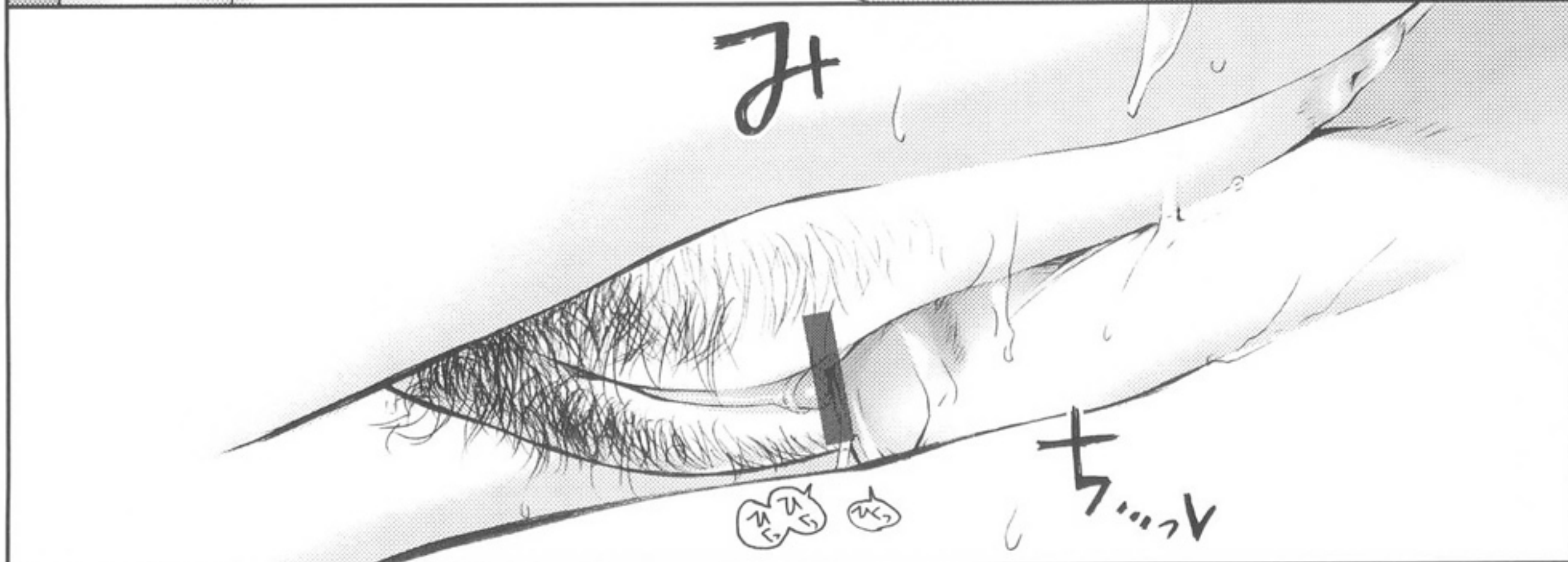
「で乳首いじられて
はしたなくミルク
ぴゅーぴゅー
ほとばしらせて
イっちゃうのね♡
「ひっ♡ちゅ乳首…
摘まんじゃ…いやああ…
でるっ♡ミルクでる
でちゃうよお…っ！

すにゅ

すにゅ



「はー…はー…はー…
「やっぱり…フォルテさん
イク所って良い…♡
低い声必死に甘く高く出して
別人みたいに可愛いんだもん…
「う…うるさいよ…もー…
「今度はアタシもイかせて下さい…
ん…ふ…くうううう♡
「ああ…あつたかいっ
「おっき♡おっきい♡ランファのチンポ
おっきすぎ…おお♡
「あ…はああああ…
ね、根元までフォルテさんの
膣内に包まれて…あふう♡
「お…おあ…お…おお…



「お…おあっあーっ
あーっあーっ♡
「ああッフォルテさんの膣内ッ
あつたかくてきゅんきゅん
締まって…良い…っ♡
「あ…ああーっあうーっ
「フォルテさんの喘ぎ声…
『あーあー』って最初は
すっごくウブな感じで可愛いつ♡
「う…ばかあっあっああーっ
「それにこのおっぱいは♡
いつも見れないの
もったいないよね
「う、後ろからでもっ
脇の間から見えていやらしいですみっ♡
「や…あーっ♡ そっんな
両方からじっと見るなアアッ





「あ……ああ……
「フォルテさん……ぐったりして……
「そんなに気持ち良いのね……?
「あう……あふうう……
「でも休むのはまだ早いですよ♡
「ひ……っや……あはあん♡
「し……搾らないでえ……ッ
「痛い……噴水みたい……っ
「あ……あん……ああん♡
「やつ搾……っな……おま○こしながら
「搾るの……っおかしくなるうっ♡
「フォルテさんってば搾り始めた
「途端声甘くなっちゃうのよね♡
「や……あっあん♡ あん♡ はああん♡
「『あんあんああん』って鼻にかかった声で……
「あ……あん……あうん♡





「ん…ふはっあ…あん
あああああああああああ♡♡♡
「ひ…射精る…っ
「こっちも…で…っ！
「あっああー…っ
はあああああ♡♡♡
「うあ…ッフォルテさんの膣内…
イク時根元が渇く締まって…
あはあ…♡
「ああ…膣内で…
射精てるううう…



「ふふ…フォルテさんの膣内…
気持ち良さそうにひくひくしてるう…
「今度はアタシの方が入れちゃいますね…
ほら…フォルテさん舐めて…っ♡
「う…ん…
んちゅ…♡



「えっ…や…駄目だっそこは汚…」
「大丈夫…フォルテさんのなら
アタシ大丈夫だもん♡」

「あううう…」

「それに今は腸内だって

綺麗な筈だし…」

「あ…な、なんか…こんとこ酷く

腹の調子が悪かったのでもしかして…」

「ふふふっ♡」

「あひっ♡らんらっア…っおまえ…」

「こっやってする事…計画…してっ？」



「んふふふふー」

「…お…おほえて…」

「ろっは…っひん♡」

「逃げちゃ駄目ですよ…」

「ん…ちゅく…んん♡」

「ひっあっあああっ」

「お…おしりいいいっ♡んん♡」

「気を取られた所で…」

「ひんっくっクリトリスまでっ!？」

「だ…だめっや…マジ…こんな…」
「じゅる…ちゅううう」
「はうっ♡む…剥いて直接…ううっ♡」
「く…クリっ♡」
「れる…んん♡」
「お…おしりいっ」
「クリ…っおしりっクリ…ひ…」
「はひいんんんんんん♡」

「ひっくううううううううう」
「はいっちゃったあ…♡」
「うお…おおおお…」
「あは♡ 膣内のと腸内のが
薄い肉はさんでぶつかってる」
「お…膣内で…こんな…おおお…」
「動くところりりって漣いっ♡」
「おおおっ…動いたら…おあっ
「フォルテさんも…」
「気持ち良くなってえ…♡」
「やっ胸駄目っ♡ 駄目ッ♡」
「こんなので気持ち良くなる
なんてそんなやだよあっ」
「駄目っ♡ フォルテさんに
気持ち良くなってもらわなきゃ
意味ないもんっ♡」
「いひっお…おうん…♡」
「あうんっ♡ おあっあお…んっ♡」





「あーっ♡あんんんっ♡♡ひああっ♡
「漣いフォルテさん瞳内っ♡締まって…ッ
「腸内も締まってますうっ♡
感じてくれるのね
フォルテさんっ♡
「良いっひようっ♡
りようほっおまんこっおしりっえぐられてっ♡
いいよっ♡きもちいいようっ♡
「フォルテさんザーメン欲しい…っ？
「ザーメン…あ、アタシ…ザーメンっ♡
ランファのザーメンっ♡
熱いザーメンっ♡好きっ♡だからっ
瞳内っ瞳内でびゅるびゅるしてえっ♡

「フォルテさんっ♡
「フォルテさん…っ♡
「あおん…っ♡おおん…♡
いい…っ♡
いくっ…っ♡いっちゃんよっ♡
いく…っ♡いくっ…っ♡
「あ…アタシも一緒に…っ♡
「イふううううううっ♡
「いうのおおおおおおっ♡

おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡



「ひあ…っあ
「ッで…ちやう…っ♡
「ああ…っあア…っ♡
「ふ…うわあ…唐い…
いつもより全然締まって…っ♡



「ああ…しゅごい…膣内も…
おしりも…ザーメン…しゅごい…
「フォルテさん…すきい…
「あ、アタシもたいすき…♡
…らんふあ…すきい…♡



「あれ？」

「アタ元にもどらな…」

「なによアタの方が」

「コビーでしょ？」

「お…おい…？」

「アタシの方が本物に」

「決まってるじゃんっ」

「おいおいおい」

「うわ…殴りあい始めやがった…」

「どっちがどちかしらねーけど…」

「あ…うわ痛ぞ…」

「は——」

「お…おつかれさん…」

「は——」

「は——」

「は——」

「は——」

「こ…こんな欠点があるなんて…」

「もうこれっきり」

「しときなよ…ランファ…」

「は…はい…そうします…」

「うう…」



「う…つかれた…」
「ね…フォルテさん…膝枕あ…♡」
「あ…ああ…いーよ…」
「……………」

「…ておい
ま…たく…散々人犯しといて
ドタバタやって先にぐっすりかよ
ホントハイテンションにマイペースなんだから
…マイペースで…わがままで…欲張りで…でも…」

「おいランファ…」
「本当はアタシお前に話しとかなきゃ
なんない事あるんだぞ？」
「一生お前とずーっと一緒に居なきゃ
なんなくなっちゃうかも
しれない事なんだけどな…ランファ…」
「聞いたら…お前…どんな顔すんだろな…」
「…ランファ……」



おしまい。



天から
7オケ!



[illegible]

うっ、うっ、うっ、うっ、うっ

(三瓶さん)

この子も女体化して悪くなるのよ

この子の胸が大きいね... このままじゃだめ...

くちゅ

三瓶由布子モエ。
と言う事でココモも
女の子だったら
もう堪らんという
そういうケース。

[illegible]

~GAのラオさ~
フォルテさんは
おへそも弱いに

11. 11

11

三

今回は副読本的なアプローチで敢えて絡みも何も無し、
ひたすら視覚するだけの内容、
沙悟荘設定フォルテさん、『AttentionPlease!』以降でのフォルテさんの
ありえない爆乳の量感のみにひたすら焦点を絞って描いてみました。
ポーズが似たような感じなのばっかなのも決して手抜きじゃなくて
サイズを目立たせようとおっちりと
描写してるつもりなだけなんですよ信じて信じてー
こんな破廉恥なおっぱいをぶら下げてる
フォルテさんが蘭花にレイプされているのだな、
とオフセット本を読み返していただくと
更にエロく感じられるようになる…
と、いいなあ…とか思ってるんですが、どうでしょう。

サイズは爆乳のラインを一步飛び越えたあたり、
柔らかさ・垂れ具合もゆるゆるの
だらしなさすぎタイプ・水風船壱歩手前…みたいな
現時点ではコレ以上は正直無理って言う限界ラインを探る
戦い(戦い?)だったりする訳なのですが
皆様のにはいかがでしょうか？

しかしこのサイズの乳を描いていると、
油断するとすぐに頭身が上がりまくってしまうので気を使います…
まあ8〜9頭身にこのサイズの乳収めようとする
もうそれだけでバランスがおかしく見えるんですが…
お陰で只でさえくだのデッサンが酷い事にorz
まあ、実在のモデルでもこの位になるとバランス正直おかしいので
(左右反転するとめちゃくちゃ違和感
あつたりするんですよ普通の写真なのにも関わらずw)
気にしないことに無理矢理してます。
ちょうどクロエ・ベブリアとかユーリア・ノヴァとか
ちょうどその位のイメージ
(AttentionPleaseで書いた数値もその辺りを意識してます)です。
…しかしこりゃ流石に無理って人多そうかな…(´・ω・｀)
まあどちらにしましてもまじめにエロとして描くのは
私ではこの位のサイズ・垂れ具合が限界だと思いますので
コレ以上インフレは起こさないと…多分。
少なくとも粹や神楽みたいなキャラでは
こういうむちゃなサイズは描かないつもりであります。

乱世編後書 04/12/30

後書集です。
頁が足りないので
それぞれ内容に関係ある
部分を抜粋して
二頁に纏めております。

今回は初のGAフォルテ姐さん本です。
の割りに仕上げも微妙
挿入全く無し、
ひたすら搾乳しっぱなしの
ちょっとアシな内容だったのですが、
いかがだったでしょうか…。

黎明編後書 04/05/09

今回のランファ×フォルテ本、
5月9日の巨乳っ娘2で出しました
黎明編の続きなのですが、
前回の乳薹りオンリーに続き
今回もパイズリ止まりの挿入なしですよ(ノヾ)ﾀﾊ

なんか姉さんと神楽の時とやってる事
あんまり変わらないような気がしますが、
ぶっちゃけそういうのが好きなので
ホトゴメンやorz

未来編後書 04/06/06

復活編は後書無し！ 04/08/14

後書

ということでいかがだったでしょうかー？
えー応繰り返しておきますね
これが限界サイズ&垂れっぷりです！
これ以上は描きません！
……多分……

少なくともフォルテさん以外でこういう感じの
無茶にフリーキーなのはまずほとんどめったに
しない筈ですよ？

あ、いや信じて信じていとしいしと
沙悟荘はこわくないこわくないよー
…ちょっと垂れてるけどね…
後藤聖子もびっくり。

あ、いや、ちがう。
自分の理想のおっぱいは君津ゆうりとか
その辺りのサイズと張りですよ。
あんまり垂れてない。垂れてないね。うん。
そういう爆乳を描くものになりたひね。
行き過ぎちゃったけど帰りし物語。

今回本当は未来編・復活編の辺りを
もう少ししっかり直しいれようかと思ったんですが、
描き下ろしのほうで手一杯になってしまって
直しきれませんでした…(´・ω・`)

いやしかし…改めて見直してみると
フォルテさん描いてる中でも
1年の間にあきらかに垂れっぷりが上昇しまくりですね。
…いかんいかん…

オフセになって振り返る機会を得た事ですし
これを機にしっかりと自戒したい次第。
そんな感じですが、
今後とも沙悟荘をゆるりゆるりに見守ってくださると
非常に有難い次第であります。

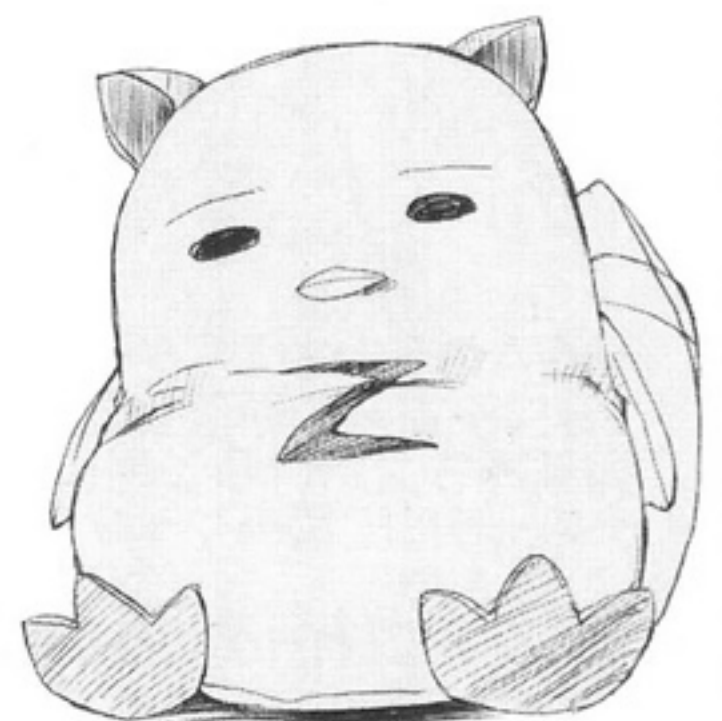
と言う事で今回はこれにて。
またお目にかかる事ができるよう
頑張っていきたいと思います。

2005年 04月 24日 瀬浦沙悟 拝

- 奥付 -

誌名： 「天からフォルテ！～総集編～」
発行日： 2005年 4月 24日
発行者： 沙悟荘
瀬浦沙悟

発行者連絡先：
E-mail： ser@fx.sakura.ne.jp
HPURL： <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>



天から

7割は!

ということで今回は前回に続き副読本的に
蘭花さんの巨根のサイジングに注目しての
視読本でしたー。

セルフパイプリーで手コキで射精しまくり。
こんなのを膣内で受け止めるフォルテさんは大変です。
そりゃもう妊娠だってします。
いつかそういう話も描きますゆえ
ヨロシクオネガイシマス。

今回もナニのサイズはこれ以上はちょっと無理かなー
と言うラインで描いてみてます。

大体20cm台後半ってとこですね。

1頭身よりちょっと長いくらい。

ぎりぎり洋物AVでも見かけない訳ではない位のサイズ?w

あんなの丸々膣内に咥えこんでる映像みると、
内臓がどうなってるのかって時々本当に心配になります。
まあでも萌えキャラがそういう犯され方されちゃってる
シュチュも大好きです。この鬼畜。

フォルテさんは勿論

蘭花さんも案外純情っぽイトコがいいんですよ…。

第一期の頃のフォルテさんラブモードがまた堪りません。
そんな感じのふた娘さんが犯されつつ手コキされて乱れるとかがって
言う受けふたシュチュも大好きで仕方ないんですが、

ふた娘さんが膣内射精の快楽に落ちて
想い人を犯しまくる攻めふたシュチュも大好きな私であります。
ただ後者はレスっぽいキャラでしか出来ませんが…。

今回は蘭花さんなのでやりたい放題です。

そんな蘭フォルサイコー!s

乱世・夢見月編後書 05/03/20



～GAのうわさ256～

フォルテさんの新調した制服は
胸を押さえつけると苦しくて嫌なので
ナチュラルに覆うタイプらしい。

その結果垂れっぴいを周囲にアピリまくる。



2005 SPRING



SAGO-JOU